

児童発達支援センター
「のびっこワールド」
支援プログラム

〈はじめに〉 児童発達支援センターのびっこワールドでは、次の**三つの支援**を行います。

(1)

本人支援
(発達支援)

(2)

家族支援

(3)

地域支援
移行支援

(1) 本人支援(発達支援)

利用児童一人ひとりの発達課題に応じて、「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域を取り入れた支援プログラムを実施します。

5領域	支援内容	
健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態及び発育チェック 睡眠、食事、更衣、排泄、整容、物の準備及び片付け等基本的な生活習慣や身辺自立に関する発達支援 	
運動・感覚	粗大運動	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢、移動、運動、動作に関する発達支援 ボディイメージの向上、身体の使い方等に関する支援 姿勢、移動、運動、動作の補助手段の活用に関する支援
	手操作	<ul style="list-style-type: none"> 生活、あそびの中での操作性の向上に関する支援 必要に応じた補助具等、補助的手段の活用に関する支援
	感覚	<ul style="list-style-type: none"> 保有する感覚についての評価と検討、感覚の補助及び代行手段の活用 生活、あそびを通じた五感の活用(楽しみや好きなものを増やす)と感覚の育ちに関する支援 感覚調整や環境調整を通して日常生活やあそびにおける困難感、不安感の軽減に関する支援 感覚統合(全身の器官を通して感じる様々な刺激を状況に合わせて処理できる)に関する支援
認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 認知や行動の手掛かりとなる概念(数、物の機能、属性、形、色、大小、空間、時間等)の形成を図るための支援 感覚や認知特性に関する評価、検討と対応に関する支援 	
言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 発声、指差し、身振り、発語等を用いて、要求、意図、状況等の伝達を積極的に行おうとする意欲を育てる支援 状況理解、指示理解に関する支援 コミュニケーションの困難性を保有する場合の支援 コミュニケーションを通して生活しやすくなり、より豊かで楽しい毎日を送ることを目指した支援 	
人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> 他者との関わり(身近な人との親密な関係、他者意識の芽生え、周囲の人との適切な関わり等)に関する支援 集団に参加するための手順やルールを知り、遊びや集団活動に参加できることを目指した支援 	

(2) 家族支援

支援内容	
	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の子育てへの思いを尊重し、不安感に寄り添いながら、本人を含めた家族の暮らしが安定することを目指した支援 ・生活状況と障がい特性に配慮したプログラムを体験する中で、家族が子育てに自信や喜びを感じられることを目指した支援 <ol style="list-style-type: none"> ①活動(親子通園)の中での手技伝達など、直接的支援 ②家庭訪問の実施 ③保護者向け勉強会(つくしんぼクラブ)の実施※お子さまの育ち、発達に関する勉強会を主に行います。 ④保護者交流会(パパママ会)の実施 ⑤サポートブックの作成※お一人おひとり個別に職員がサポートします ⑥支援内容に関する相談 ⑦医療福祉制度や福祉サービスに関する相談、助言

(3) 地域支援、移行支援

	支援内容
地域支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園や幼稚園、子ども園等子育て機関との連携によるインクルージョン(一人ひとりが自分に合った支援を受けながら、安心して地域社会へ参加していく仕組み)を目指した支援 ・医療機関や行政関係機関との連携により、地域全体の目標、課題として地域の子育て力を高めると共に、インクルーシブ(一人ひとりの違いを認め合い、すべての人がお互いの人権と尊厳を尊重し合う共生社会)の実現を目指した支援 <ol style="list-style-type: none"> ①園訪問の実施 ②個別支援会議の実施、相談支援専門員と連携したサービス担当者会議等への参加 ③西部圏域における行政機関及び各児童発達支援センターとの協議会実施 ④管内市町村自立支援協議会への参加 ⑤児童発達支援センター等に対する理解促進のための地域への積極的な広報活動
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・のびっこワールドで育った力を、家庭、園、学校等でも同様に発揮できるよう汎化を目指した支援 ・新入園、新入学、住居移転など、本人と家族が新たなライフステージを円滑に安心して迎えられることを目指した支援 <ol style="list-style-type: none"> ①園、学校等訪問の実施 ②移行支援会議の実施 ③療育ノートやサポートブックの活用

〈支援のプロセス〉

子どもたちの「できた!」「わかった!」「たのしい!」と、
笑顔が増えるように支援していきます。

〈アセスメント=見立て〉

- ・ 外来診察
 - ・ 行動観察
 - ・ 家族間取り
 - ・ 発達検査
 - ・ サービス担当者会議
- ※様々な情報から本人を認識、理解することで適切な見立て(診断、判断、予測)に繋がります。

〈個別支援計画〉

- ・ ステップ1で行ったアセスメントを基にニーズに沿った目標立てをし、計画を作成します。
- ※具体的な振り返り評価を行える計画作成を目指しています。

〈支援提供〉

- ・ 個別支援計画に基づいて行います。
- ※子ども達が、親子が楽しむことができる、創意工夫をこらした内容となっています。

〈個別支援会議〉

- ・ 個別支援計画見直し
- ・ 効果に基づき補足修正

〈モニタリング〉

- ・ 発達状況確認
- ・ 生活状況等確認

